



令和5年9月30日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

10月号



上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

「発信する力」～表現する・受け止める～

校長 小林 京子

上瀬谷小の子どもたちに特に育てたい資質能力の一つに「発信する力」があります。子どもたちにも4月の始業式に「自分とみんながもっと成長するコツ」として、「人に考えを伝えること、表現すること」の大切さを話しました。本校では、今年度から「児童朝会」といって、子どもたちが司会をし、運営をする朝会を創りました。6年生を中心に原稿を見ずに、自分の言葉で話したり考えを受け止めたりすることを大切にできる時間を増やしてきました。

夏休み明けの朝会で、私は、「夏休みに調べたことや練習したことを全校のみんなに伝えてはどうでしょう」と子どもたちに話をしました。すると、その日の中休み、かわいいノックとともに校長室にやってきた小さな挑戦者がいました。「夏休み中に、タンポポのわたげを植木鉢で育てたので、みんなに伝えたい」とのこと。そのたんぽぽの写真をみんなに見てもらい、どうやって育てたかをみんなに知ってもらいたいのだそうです。次の日の中休みには、もう一人挑戦者がやってきました。「夏休みにお姉ちゃんと一緒にリコーダー練習をしたから、自分の演奏をみんなに聞いてほしい」というのです。全校児童の前で、自分の調べたことや練習したことを一人で発表するというのは、どんなに緊張することでしょう。それでも、小さな挑戦者は、手がきのカードや写真を使って見事に「タンポポがわたげから育った時の喜び」を伝えました。また、もう一人の挑戦者は、音楽朝会で、リコーダー演奏2曲を一人でやり、全校のみんなからも拍手や感想をもらうことができました。

9月24日には、瀬谷区政推進課の企画の「かがやきフェスティバル」（瀬谷駅北口広場会場）に本校の4年生19名と6年生7名が自主的に参加しました。4年生は、「上瀬谷小ワンダ4キッズ」というチーム名でダンスに歌にリコーダー演奏を、6年生7名は、オーブンガーデンの取組を寸劇を入れて発表しました。6年生は、練習の過程で自分たちの課題を自分たちで指摘し合うこともあり、伝わるように発信することに磨きをかけました。

のびのびと笑顔で伝えたいことを伝える子どもたちの姿は頼もしく、また見ていた人たちを幸せな気持ちにしました。

本校の子どもたちが様々な場面で臆せず、自分の学んだことを発信できるようになることは本当にうれしいことです。一方で、この発信する力は、受け止める力が育っていないと伸びません。人にかからかわれたり認められなかったりしたときに、人は発信する気になれるのでしょうか。子どもたちが子どもたち同士で認め合う土壌の中で、伸びていく力と考えています。まだまだ「いいな、すてきな、かっこいいな」が広がりそうです。

スポーツフェスティバルをはじめとして、まだまだ続く子どもたちの活動の中で、このように発信する姿、受け止める姿にも注目し、応援していただければ幸いです。